

第4回農業分科会における民間議員等の指摘事項

<輸出>

- ・輸出 1 兆円へのロードマップの明確化と進捗管理の方策の検討
- ・HACCP の認定促進策・食品添加物基準・残留農薬基準の国際的な整合化
- ・世界に通用するGAPの取扱促進
- ・フランスの例も参考にしたブランディングの方策
- ・生産品目ごとオールジャパンでの輸出・クールジャパンの活用策
- ・輸出トラブルへの即応体制の整備
- ・輸出特区をつくること
- ・保税的発想の輸出促進

<6次産業化>

- ・6 次産業 10 兆円の KPI 達成のための積み上げを示すべき
- ・A-FIVE の検証・見直しを行うべき

<酪農・畜産対策>

- ・国産飼料の活用・ブランド化・企業参入の促進
- ・酪農・畜産政策の中での飼料用米の活用方策

<資材流通コスト>

- ・資材・流通面のコスト削減の現状評価をすべき
- ・農協の資材供給の課題(共販・委託販売を含む)への対応

<農地中間管理機構>

- ・昨年議論した事項の反映状況のフォローアップ
- ・農業委員会との関係整理

＜コメ政策＞

- ・生産調整の見直しの着実な実行
- ・現場の声(アンケート)の把握
- ・収入保険の検討

＜規制改革会議との連携、その他＞

- ・企業参入に優しい体制づくり
- ・農業法人と農協のフェアな競争の促進策
- ・国が主導する長期的研究開発(豚・多収米)の促進策
- ・具体的成功事例の形成を

＜有識者指摘事項＞

- ・実質の輸出額・農産物の純輸入額(事実関係の確認)
- ・観光との交流・ITの活用方策
- ・6次産業化における女性と高齢者の活用
- ・システム輸出の検討
- ・中間管理機構におけるその他の論点(委託料、農地集積の長期的見通し、農地・水、担い手支援)

以上